

県医師会理事会記事

平成28年度第22回常任理事会

(平成28年9月13日)

平松会長 挨拶



皆さま、こんばんは。秋の気配を少々感じる朝晩となりましたが、まだ日中は大変暑く、夏の太陽のエネルギーは健在です。寒暖差が出てきましたので、皆さんも体調管理にはご留意をいただければと思います。

今日は、衆議院議員の河井克行内閣総理大臣補佐官がご挨拶に来館されました。いろんな医療問題について話しましたが、われわれが中央行政に要望している重点項目をご説明し、お願いを申し上げました。

私は日本医師会理事に6月から就任しましたので、いつか発言しようと思っておりますが、皆さん診療報酬はいつからマイナス改定をされたかご存知でしょうか。

薬価等(薬価+材料)のマイナス改定は昔からありましたが、診療報酬本体がマイナス改定にされたことは、ある時期までなかったと私は記憶しています。

ところがある方が総理大臣になられてから、診療報酬本体のマイナス改定が始まりました。皆さん当然お分りのとおり小泉純一郎氏です。

小泉氏が内閣総理大臣に就任したのは2001年4月で翌年2002年(平成14年)の診療報酬改定で診療報酬本体マイナス1.3%とし診療報酬+薬価等はマイナス2.7%というとんでもない改定となりました。そして最大のマイナス改定は2006年(平成18年)で、診療報酬マイナス1.36%、薬価等マイナス1.8%で全体の改定率が過去最大のマイナス3.16%でした。この年から医療崩壊が加速度的に進みました。

小泉政権といえば劇場型政治といわれた手法で人気を博し2001年4月~2006年9月の5年5ヶ月の長期政権となり、その間の政策方針はいわゆる新自由主義的な経済・財政主導型で市場原理に基づく施策を実施して、日本経済の立て直しを図ったわけですが、高齢化が進む日本の社会保障費にも財政主導的な施策を持ち込んだ結果、へき地医療の崩壊、救急搬送たらい回し、医

師・看護師不足など、さまざまな問題が噴出してきたのも小泉政権時代からです。

その後、政権交代もありその間はプラス改定でしたが、私が計算してみたのですが、おそらく小泉政権以来の改定率は、すべて合わせると実質的にはマイナス8%を超えているのです。

本来は日医ニュースの1面トップに、常にそのことを載せておくべき事柄だと思うのです。そして、何年間で何%マイナスであると大々的に知らしめる必要があると思うのです。

私が今日、河井先生に申し上げたことは、社会保障費が消費税増税延期もあって、結局、削減のやり玉に上がっていますが、今の医業経営者は非常に苦しい立場にあります。この2002年の診療報酬改定から、下げるときは大きく、上げるときは小さく、トータルでは大きく診療報酬は下がっています。しかし医療機関の人件費は常に上がっているのです。これではいつか経営が成り立たなくなるのですが、現状ではギリギリで経営されている医療機関がたくさんあると思うのです。その実態調査を行う必要があります。

また今日は、河井先生に消費税と損税の問題もお願いしたのですが、河井先生は武見敬三参議院議員が会長をされている「医療政策研究会」で幹事長をされていて、そこへ自見はなこ参議院議員も入っていただけたらいいと言われておられました。

今日は河井先生に、まずは日本の2025年問題を踏まえた地域医療を守るために診療報酬改定では必ずアップして欲しいことと、医療機関における消費税・損税の問題も解決して欲しい旨を強くお願いしておきました。

その話のついでに、先ほども言いましたように医療機関経営の実態調査です。やはりこれは取り組まなければいけない課題だと思います。皆さんにも知っていただいて、医療政策に対するお知恵を拝借したいと思います。

本日もよろしく申し上げます。

協議事項

- ・平成28年度広島県四師会役員連絡協議会協議事項の件 (豊田副会長)
原案どおり平成28年度事業提案書の提出を承認
- ・市郡地区医師会主催学会等の日本医師会生涯教育講座認定申請の件 (小林常任理事)
24件、原案どおりすべて承認

- ・講演会補助金の件 (水野常任理事)
安佐医師会 災害医療講演会の申請を承認
- ・第110回広島がん治療研究会補助金の件 (水野常任理事)
補助を承認
- ・第55回日本小児外科学会中国四国地方会補助金の件 (水野常任理事)
補助を承認
- ・第75回広島地方眼科学会補助金の件 (水野常任理事)
補助を承認
- ・平成28年度広島地方眼科学会に対する補助金の件 (水野常任理事)
補助を承認
- ・中国診療情報管理研究会平成28年度会費の件 (水野常任理事)
会費納入を承認
- ・産業医研修会講師謝金の件 (志田原常任理事)
10月2日までの講師には源泉税別、以降は源泉税込みの謝金とする
- ・スポーツ医等派遣補助金申請の件 (小笠原常任理事)
平成28年度全国高等学校総合体育大会の東広島地区医師会への補助を承認
- ・第23回広島大学心理臨床セミナー「心の傷とその癒し」後援の件 (津谷常任理事)
後援を承認
- ・ジュノー音楽祭2016後援の件 (津谷常任理事)
後援を承認
- ・第1回難病フェスタ後援の件 (津谷常任理事)
後援を承認
- ・広島市西区医師会市民公開講座後援の件 (津谷常任理事)
後援を承認
- ・日本放射線技術学会市民公開講座後援の件 (津谷常任理事)
後援を承認
- ・第17回認知症ハート・フォーラム後援の件 (大谷常任理事)
後援を承認
- ・平成28年度在南米被爆者健康相談等事業経費の件 (加世田常任理事)
原案どおり出張経費を承認
- ・平成28年度在南米被爆者健康相談等事業海外旅行保険の件 (加世田常任理事)
東京海上日動A6およびフリープランを選定
- ・平成29年度第21回在北米被爆者健康相談等事業日程の件 (加世田常任理事)
日程案を承認
- ・生活保護法に基づく医療扶助運営指導専門医の件 (津谷常任理事)
継続審議
- ・委員会委員の件 (津谷常任理事)
運動器検診実施体制検討会委員について承認
- ・水銀血圧計等自主回収事業における処理状況の現地確認の件 (志田原常任理事)
現地確認は不要とする
- ・役職員出張申請の件 (津谷常任理事)
原案どおりすべて承認

報告事項

- ・9月9日、支払基金広島支部第815回幹事会 (平松会長)
役員の選任、情報セキュリティ対策の強化、再審査等請求に係るレセプトQRコードを活用した管理の試行実施などについて協議した。
- ・9月6日、広島県留置施設視察委員会 (山崎常任理事)
山県・庄原の2カ所の警察署の留置施設の視察を行った。両警察署とも築後40年ほど経過しているが、留置施設はきれいに整備されて施設的な問題はなかった。勤務状況ではサービス残業が日常化しているようだが、休暇は十分取れていた。大きな指摘事項はなかった。
- ・9月7日、広島少年院視察委員会 (山崎常任理事)
提案箱の内容を検討し、状況の確認と説明を受けた後に、いくつかの要望と提案を行った。
- ・9月7日、地対協 精神疾患専門委員会第1回広島県アルコール健康障害対策推進計画検討WG (山崎常任理事)
「広島県アルコール健康障害対策推進計画(仮称)」における医療関係の計画策定にあたり、各委員のアルコール健康障害対策に関する取り組みを共有するとともに、計画で取り組むべき課題などについて意見照会を行った。
- ・9月8日、平成28年度広島県労災指定病院・診療所協会監査会 (小笠原常任理事)

平成27年度会計に係る監査、平成28年度役員会 (9/26月)・定時総会 (10/27木) について協議・検討を行った。

- ・9月8日、地対協 健康危機管理対策専門委員会第1回予防接種WG

(大本常任理事)

「広島県統一の定期予防接種接種率推奨算定式」を用い調査した平成27年度の市町別接種率を確認し、今後の対策について協議した。また、10月より定期接種化されるB型肝炎ワクチンや、接種過誤防止への対応についても協議した。

- ・9月9日、女性医師部会 (國田常任理事)

平成27年度の活動報告を踏まえ、平成28年度の活動方針および事業計画について協議を行った。

- ・9月9日、地対協 医薬品の適正使用検討特別委員会 (小笠原常任理事)

昨年度事業を振り返り、今年度の事業計画について協議した。今年度は医療・介護従事者を対象として健康食品に係る健康被害事例などについての実態調査を行うこととし、調査項目や県民への啓発チラシ・ポスターについて意見交換した。

- ・9月10日、第31回広島医師走ろう会

(志田原常任理事)

今年は二葉の里の新会館へ移転後、初の会であった。当日は天候に恵まれ、合計31名(ランニングに遅れたため懇親会のみ2名含む)が参加した。新たなコースを参加者は皆無事に完走した。ランニング後は、恒例の懇親会を開催し各々が去年からの出場レースや近況を披露するなど親睦を深めた。

- ・9月12日、第47回広島県医師会ソフトボール大会第2回世話人会 (志田原常任理事)

大会運営要項やブロック編成について協議した。

- ・9月12日、広島県医師会感染症対策委員会・地対協 健康危機管理対策専門委員会合同委員会 (大本常任理事)

両委員会での取り組みや、現在検討している事業などについて紹介し、情報共有を図った。広島県感染対策支援ネットワーク(仮称)の構築や、蚊媒介感染症リーフレットの作成、薬剤耐性菌対策、予防接種WGの活動状況等について報告・協議した。

- ・委員会委員について (津谷常任理事)

広島県医師会あり方委員の委員について報告

医療時事ニュース (9月16日~9月28日)

- 産後ケアに11月新拠点 市民サポーターを養成 県産婦人科医会など9団体 広島市内に開設 9・16 中国
- 注目発信 膵臓がんを早期発見するために 広島県医師会 國田哲子 9・17 中国セレクト
- 医療ルネサンス 医療放射線を減らす 照射口が変形 精度高く 9・19 読売
- 住民側の上告 最高裁が棄却 府中市民病院統合訴訟 9・21 中国
- 専門医が診る 下垂体腺腫 ホルモン異常 早期発見を 県立広島病院脳神経外科・脳血管内治療科 富永篤主任部長 9・21 中国
- 「FMちゅーピー健康ばんざい」 広島女性クリニック 永井宣隆院長 9・22 中国セレクト
- 汚染ない地との比較に力点を 武市医師に聞く 9・23 中国
- 「てんかん」啓発 サンフレが応援 スタジアムで催し 9・24 朝日
- 注目発信 伝染性軟属腫(みずいぼ) 広島県医師会 水野正晴 9・24 中国セレクト
- 膵臓・食道がん 診断に課題 12部位 発見時の進行度公表 国立がんセンター 9・26 朝日・毎日・中国
- 韓国医師ら10人 被爆者医療学ぶ HICARE研修 9・27 中国
- 広がる出生前診断 開始から3年半 受診者3万人超 9・28 朝日